

## 令和5年度 第1回学校協議会報告

日時：令和5年9月30日（土）14:00～15:30

会場：東大谷高等学校 多目的室1

### 1. 学校長挨拶

- ・PTA 新会長紹介

### 2. 協議会委員自己紹介（敬称略）

委員：東 京子氏（成美会役員）

丸岡俊之氏（近畿大学教職教育部教授）

中村俊一氏（立志館ゼミナール取締役）

赤阪博之氏（堺市立三原台中学校校長 ＊所用のため欠席）

前田能成氏（和泉市立南池田中学校校長）

宮坂政宏氏（週刊教育プロ編集員）

上田ゆかり氏（令和5年度 PTA 会長 ＊所用のため欠席）

事務局：長尾文孝（校長）

市居政彦（教頭）

東 明美（教務部長）

出水謙一郎（入試対策部長 ＊出張のため欠席）

志藤真裕（情報部長 ＊出張のため欠席）

吉永雅也（生活指導部長）

甘木智美（進路指導部長）

久富正彦（校務部長 ＊出張のため欠席）

### 3. 議事

（1）議長選出 → 丸岡俊之氏（近畿大学教職教育部教授）

（2）本校の現況と今後の取り組みについて

①本校の現状（校長より）

②2023年度高校入試結果

③2023年度大学入試結果

④大谷学園高大連携プログラム

・薬剤師育成プログラム(9年)

・小学校教員育成プログラム(6年)

⑤2023年度学校経営目標

・「人間教育をする進学校」の継続…宗教的情操教育による人間力の強化と

10年未来プロジェクトをはじめとする充実した進路指導による目標設定とその実現

・コース別特徴の強化と

進学コース 高大連携プログラムの充実と学内推薦・指定校推薦の強化

国際コース 英検・GTEC 対策等英語に重点を置いたカリキュラムによる英語力の強化

語学研修・留学制度の充実

特進コース ベネフィシャルタイムを活用した課題解決能力の育成とその強化

多様な進路目標の実現

・入学者数 300 名を確保するための全教員の意識改革と広報体制の充実

・働き方改革による教員の勤務時間の見直しと保護者・生徒の満足度の維持

⑥1 学期から 2 学期当初の主な行事

⑦生徒募集関連

・全校生徒数 900 名を目指して魅力ある学校づくりとホームページや

SNS を用いた広報活動（オープンキャンパスや学校説明会等も含めて）の充実

・進学相談基準の明確化

(3) (講座学系 5 教科) 授業アンケート結果報告 (教頭より)

①生徒の授業への取り組みについて…積極性が向上

②生徒から授業・教員に対して…全授業が対面形式に戻り、生徒の満足度も上昇

◎協議会委員からの意見と提言

- ・10年未来プロジェクトの取り組みは非常に良いものである。高大連携にもつながりやすい。進路実績という出口も大事だが目標設定に向けての進路指導内容が何よりも大切である。主体的学びとからめた進路指導を展開してもらいたい。

→事務局 10年未来プロジェクトは教員 2 名体制で各クラスに当たっており、またカリキュラムも年々充実しているため今後ますます充実していくと考えている。

- ・「明朗」「はつらつ」「無邪気」が人間力強化に不可欠である。脳の前頭前野を刺激するために、動画を用いた刷り込み教育が主体的に学ぶ力をつけるのに効果的である。「感動」型体験を一つテーマに決めて、それを動画にする。教職員に対しては、ハードワークのほかに、ワークエンゲイジメント（仕事に対する「熱意・没頭・活力」）の向上に取り組むことで、教育力・指導力向上などの効果を見込むことができる。

- ・中学校ではグループ学習が知識等の定着に効果的である。内容の難易度で定着率に差は生じるが、グループ学習の機会を増やすべきである。働き方改革については、部活動指導に熱心な教員に対してどのような手当て・配慮ができるのか具体的に考えるべきである。  
→事務局 部活動指導担当者には極力手厚い待遇がなされるよう本部に折衝中である。
- ・初めて参加させていただいて東大谷高校が取り組まれていることとその充実ぶりをうかがい知ることができた。授業アンケート結果を聞いて、先生と生徒の信頼関係が良好であるということがわかった。  
→事務局 中規模校として生徒と教員の距離が近く、きめ細かい対応を心がけている。
- ・成美会として生徒募集や広報活動に何かお役に立てないかと考えている。以前にもお伝えしたが、可能であれば学校案内にも同窓会について部分的にでも掲載いただけないだろうか。素晴らしい教育を展開されていることを同窓会会員にも知らせていけるものとして学校案内を活用させていただきたい。
- ・GIGA スクール構想に伴い ICT 教育について東大谷高校は他校に比べて先行していると思われる。また授業の効率化や「探求ゼミナール」・「情報」という授業での活用とその効果についてはかなりのものであるが、活用方法・活用内容については次の段階に入らないといけない。上位公立校での活用方法を参考にしてもらいたい。生徒募集についてはどのような生徒に入学してもらいたいのかをもっと明確にするべきである。  
→事務局 Chromebook の活用については情報交換等によりさらなる有効活用を模索して行きたい。